



これから『生殖補助医療（体外受精・胚移植）』を受けられる方へ

【スケジュール調整】をお願いいたします

体外受精・胚移植は「卵胞の育ち具合」に応じてスケジュールが変わります。特に治療のひとつである採卵（卵巣に発育した卵胞から卵子を採取すること）は、いつ行っても良いのではなく、卵子が卵胞の中で成熟し、卵胞から飛び出す（排卵）直前のタイミングで行うことが重要です。

多くの場合採卵日が決定するのは、採卵日の「2-3 日前」になります。1日ぐらいであれば、卵巣刺激の種類によっては採卵日をずらすことも可能ですが、全てをコントロールすることは難しく、卵子の成長具合に合わせて最適なタイミングで採卵を行うにはどうしても不規則な通院が必要となります。ここを疎かにしてしまうと良い結果に繋がりません。

また、採卵だけでなく胚移植についても同様に不規則な通院が必要となることがあります。移植日も子宮内膜の状態やホルモンの値によって決めていくため、必ずしもご希望の日程で移植できないこともあります。

そのため、患者様それぞれのご都合に合わせた治療を行う事は難しくなります。お仕事や家事・育児、通院していただく距離が長いなど、皆様それぞれにご事情があると思いますが、『妊娠』に繋がるよう、スタッフも全力でサポートしていきますので、治療（体外受精・胚移植）を受けると決められた周期は、治療を優先できるように【スケジュールの調整】をお願いいたします。

よしだレディースクリニック内科・小児科